

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年九月度 入選句 (投稿総数二千二百六十一句・小中学投句数千六百二十句)

特選

選者 相馬 みさ子

はかまいりじいちゃん見ててねぼくのこと 大垣市 藤田 光聖(小四)

大好きだったおじいちゃんのお墓参りに行った時、作者は、おじいちゃんにこう呼びかけたのですね。

作者のおじいちゃんへの思いがよく伝わってきます。きつとやさしいおじいちゃん、作者のことをいつも見守ってくださっていることでしょう。家族のあたたかさ、優しさを感じる「こまを素直なことばで表現しています。

「はかまいり」は秋の季語です。

初めての応援団長汗落ちる 大垣市 大橋 悠伸(小六)

学校は二学期が始まるとすぐ運動会です。

作者は、初めて応援団長になったので、とても緊張し、はりきっていることが、「汗落ちる」でよくわかります。作者のがんばる姿が、目に浮かぶようです。

自分の体験から生まれた実感的な一句で、リズムもよいです。

季語は「汗」で夏です。

せみのこえくぐりぬけたらおおがきじょう 大垣市 おおぜき あやか(小二)

大垣城の周りには、木がこんもりとしげって昼間でもうす暗い所があります。

せみのなき声がなりひびくそんな城の森をぬけると、目の前に大垣城があらわれたというわけです。

「せみのこえくぐりぬけたら」という表現が、せみの鳴き声と森の木々を見事に写生していると思います。お城付近の景観が目に浮かびます。

季語は「せみ」で夏です。

秀逸

二人だと見ている花火倍になる 美濃加茂市 間宮 浩輝(中二)

風にゆれすすきがまるで海のように 美濃加茂市 高木 理名(中二)

田を守る動かぬヒーローかかしかな 美濃加茂市 片田 雄大(中二)

浴衣帯ゆらゆらゆれる金魚のよう 美濃加茂市 黒木 萌花(中三)

円陣で気合い入れた運動会 美濃加茂市 牧下 晴香(中三)

くうきぬきまたらいねんねうきぶくろ 大垣市 おおぜき はやと(小二)

うんどろう会せいえんの中はしりぬく 大垣市 川合 えみり(小三)

サイダーが口であばれて大さわぎ 大垣市 大橋 叶夢(小四)

輪になって家族みんなで盆おどり 大垣市 森本 彩乃(小四)

夏空へカーンと一発ホームラン 大垣市 高木 康作(小五)

入選

青葉のび見えかくれする川灯台 大垣市 鶴飼 麻央(小六)
 夏祭り夜空に大きな花が咲く 美濃加茂市 山下 玲音(中三)
 秋風に誘われ歩く散歩道 美濃加茂市 後藤 竜(中三)
 朝顔が空に向かってこんにちは 坂 朱 莉(小四)
 ひまわりといっしょにしゃんハイチーズ 大垣市 小野木 優真(小二)
 とれたてだおやつトマトまるかじり 大垣市 杉田 圭祐(小二)
 かおよりもおおきなすいかおいしそう 大垣市 早の 立き(小二)
 もぐらさんいもほりしようぶつなひきだ 大垣市 おおくら ここな(小二)
 すいはんきあけたらピカピカしんまいだ 大垣市 金森 公佑(小三)
 帰り道とんぼといっしょにきょう走だ 大垣市 廣瀬 光雅(小三)

入選

おいしそう姉ととり合うくりごはん 大垣市 加藤 心羽(小三)
 ぶどうがりおおきさくらべにはしやぐこえ 大垣市 松岡 朋葉(小三)
 電線にむく鳥の群れならんでる 大垣市 田中 凜(小四)
 まん開のひまわり畑かけぬける 大垣市 奥田 真央(小四)
 ブドウ食べ口の中までいいかおり 大垣市 影山 莉乃(小四)
 ヘチマくんいつのまにやら太ってる 大垣市 上田 蒼汰(小四)
 母さんといっしょに仕事夏休み 大垣市 佐藤 和輝(小四)
 大量のせんたくたたみ夏休み 大垣市 川瀬 未祐(小四)
 じいちゃんとキャッチボールで汗をかく 大垣市 小谷 熙人(小四)
 くりごはんかぞくでかこむばんごはん 大垣市 高林 優菜(小五)

選者吟

秋晴れや背筋をびんと鼓笛隊

みさ子